

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 特殊電極株式会社

コード番号 3437 URL <http://www.tokuden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高田 芳治

問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 高島 良成

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 06-6401-9421

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,707	△0.5	75	△12.6	84	△17.4	21	△42.7
25年3月期第2四半期	3,726	0.3	86	△13.7	102	△18.1	37	△46.6

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 50百万円 (213.3%) 25年3月期第2四半期 16百万円 (△71.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.71	—
25年3月期第2四半期	4.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	6,435	3,427	53.3	427.98
25年3月期	6,518	3,404	52.2	425.15

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 3,427百万円 25年3月期 3,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,873	5.2	162	30.1	174	16.2	69	77.6	8.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	8,010,000 株	25年3月期	8,010,000 株
26年3月期2Q	2,094 株	25年3月期	2,094 株
26年3月期2Q	8,007,906 株	25年3月期2Q	8,007,907 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府と日銀の経済金融政策により円安・株高が進み、景気回復への明るい兆しが表れているものの、輸入燃料・原材料価格の上昇、消費増税に対する懸念などにより、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中にあって当社グループは、営業部門におきましては、直販体制を活かした営業展開を推進し、営業体制の強化と顧客のニーズの的確な把握による受注拡大及び新規開拓に全力を尽くし、業績の向上に注力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、作業効率の改善による品質の向上・コストの削減・省エネの積極的な取り組みを推進してまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、研究成果の実用化を図り、顧客ニーズに基づいた様々な関連分野での技術開発に取り組んでまいりました。

また、海外市場獲得のため、中国子会社の販売体制の強化を推進するとともに、タイ国内において合弁会社設立の準備を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,707百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

また、損益面におきましては、営業利益は75百万円（前年同四半期比12.6%減）、経常利益は84百万円（前年同四半期比17.4%減）、四半期純利益は21百万円（前年同四半期比42.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 工事施工

顧客満足度向上のための高度技術の提供、品質管理、徹底したコスト削減により、受注拡大に努めました結果、鉄鋼関連の保全工事、トッププレート工事の受注は増加しましたが、アルミダイカスト関連工事、プラズマ粉体肉盛工事、粉砕ミル工事、現地加工の受注が減少した結果、売上高は2,665百万円（前年同四半期比1.1%増）、セグメント利益は226百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

#### ② 溶接材料

直販体制による新規顧客の開拓及び既存顧客の深耕による受注拡大とコスト削減に努めましたが、製品においては当社の主力でありますフラックス入りワイヤの売上高は292百万円（前年同四半期比7.6%増）、商品のアーク溶接棒、TIG、MIGなどの溶接材料の売上高は441百万円（前年同四半期比5.2%減）となり、溶接材料の合計売上高は734百万円（前年同四半期比0.5%減）、セグメント利益は127百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。

#### ③ その他

自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品、環境関連装置の受注が減少した結果、売上高は307百万円（前年同四半期比12.9%減）、セグメント利益は19百万円（前年同四半期比22.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ83百万円減少し、6,435百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ159百万円減少し、4,688百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ76百万円増加し、1,746百万円となりました。これは主に、無形固定資産が増加したことによるものであります。

##### (負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ106百万円減少し、3,007百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。

##### (純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、3,427百万円となりました。これは主に、為替換算調整によるその他の包括利益累計額が増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ184百万円減少し、1,278百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益81百万円に減価償却費の計上72百万円、退職給付引当金の増加18百万円などの資金増加要因があったものの、売上債権の増加11百万円、仕入債務の減少29百万円、未払金の減少32百万円、法人税等の支払額31百万円などがあり、19百万円の収入（前年同四半期は177百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の取得による支出57百万円などの資金減少要因があり、59百万円の支出（前年同四半期は20百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純減少額110百万円、配当金の支払による支出28百万円などの資金減少要因があり、143百万円の支出（前年同四半期は136百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当初の計画通りに推移するものと考えており、現時点におきましては、平成25年5月20日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,462,482	1,278,331
受取手形及び売掛金	2,303,393	2,315,639
商品及び製品	544,425	545,059
半成工事	285,607	297,010
原材料及び貯蔵品	81,111	81,364
その他	171,581	171,545
貸倒引当金	△41	△18
流動資産合計	4,848,560	4,688,932
固定資産		
有形固定資産	1,399,048	1,396,888
無形固定資産	22,449	85,951
投資その他の資産	248,585	263,363
固定資産合計	1,670,083	1,746,204
資産合計	6,518,643	6,435,136
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,519,628	1,445,360
短期借入金	390,000	280,000
未払法人税等	35,553	70,217
賞与引当金	118,599	109,092
工事損失引当金	10,772	12,048
その他	217,329	207,105
流動負債合計	2,291,884	2,123,823
固定負債		
退職給付引当金	406,546	425,249
その他	415,649	458,866
固定負債合計	822,196	884,115
負債合計	3,114,080	3,007,939
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	394,812	394,812
利益剰余金	2,452,306	2,445,950
自己株式	△379	△379
株主資本合計	3,331,551	3,325,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,605	4,033
為替換算調整勘定	74,617	97,968
その他の包括利益累計額合計	73,012	102,001
純資産合計	3,404,563	3,427,197
負債純資産合計	6,518,643	6,435,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,726,478	3,707,522
売上原価	2,803,459	2,752,272
売上総利益	923,019	955,250
販売費及び一般管理費	836,781	879,908
営業利益	86,237	75,341
営業外収益		
受取利息	665	874
受取配当金	1,299	1,401
雇用安定助成金	7,259	5,989
その他	9,575	5,999
営業外収益合計	18,800	14,263
営業外費用		
支払利息	1,977	1,283
為替差損	—	3,099
その他	513	493
営業外費用合計	2,491	4,876
経常利益	102,546	84,729
特別利益		
固定資産売却益	209	—
特別利益合計	209	—
特別損失		
固定資産除却損	144	376
減損損失	—	3,141
投資有価証券評価損	4,102	—
特別損失合計	4,246	3,517
税金等調整前四半期純利益	98,510	81,211
法人税、住民税及び事業税	55,516	65,418
法人税等調整額	5,184	△5,878
法人税等合計	60,700	59,539
少数株主損益調整前四半期純利益	37,809	21,672
四半期純利益	37,809	21,672

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	37,809	21,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,504	5,638
為替換算調整勘定	△20,135	23,350
その他の包括利益合計	△21,639	28,989
四半期包括利益	16,169	50,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,169	50,662
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	98,510	81,211
減価償却費	79,904	72,463
減損損失	—	3,141
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,146	△9,507
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18,294	18,702
受取利息及び受取配当金	△1,964	△2,275
支払利息	1,977	1,283
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,102	—
売上債権の増減額 (△は増加)	125,569	△11,863
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,133	△5,978
仕入債務の増減額 (△は減少)	292	△29,080
未払金の増減額 (△は減少)	△3,132	△32,664
その他	△18,707	△35,341
小計	283,566	50,089
利息及び配当金の受取額	1,908	2,319
利息の支払額	△1,960	△1,252
法人税等の支払額	△105,618	△31,038
長期預り金の返還による支払額	△96	△1,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,799	19,037
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△29,584	△57,374
有形固定資産の売却による収入	13,567	—
無形固定資産の取得による支出	△3,498	—
投資有価証券の取得による支出	△1,876	△1,969
その他	1,200	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,192	△59,343
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	△110,000
リース債務の返済による支出	△8,702	△5,940
配当金の支払額	△28,027	△28,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136,730	△143,967
現金及び現金同等物に係る換算差額	△992	122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	19,883	△184,150
現金及び現金同等物の期首残高	1,354,397	1,462,482
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,374,281	1,278,331

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。